

# 山と語学を愛した大学生は なぜ逮捕され命を奪われねば ならなかったのか？

日米開戦の日、1941年12月8日。北大生・宮澤弘幸さん（当時22歳）は、英語教師のレーン夫妻とともにスパイ容疑で逮捕され、残酷な拷問の末、極寒の網走刑務所に収監された。事件が現代の私たちに問いかけるものは？



▲在りし日の宮澤弘幸さん。1940年9月、穂高にて。多くの山行をともにし、弘幸が兄のように慕っていた北大のイタリア人研究者フォスコ・マラーニ氏撮影。

＊第1部 映画『レーン・宮沢事件 もうひとつの12月8日』（60分）

＊第2部 秘密保護法・戦争法の時代に、事件から何を学ぶか



お話 山野井孝有さん（元・毎日新聞印刷部長）  
やまのい たかゆき

聞き手 山田健太（専修大学教授）・川嶋均（東京藝大非常勤講師）

日時: 2018年12月6日（木）18:30-21:00

（開場 18:15）

場所: 東京藝術大学上野キャンパス

音楽学部 5-109 教室（台東区上野公園 12-8）

※入場無料、申込不要。藝大生も一般市民も、どなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ [kenpou.geidai@gmail.com](mailto:kenpou.geidai@gmail.com)（川嶋）

主催 東京藝術大学 音楽学部 楽理科 ・ 後援 日本ペンクラブ

共催 自由と平和のための東京藝術大学有志の会

